



# ネイチャーセンターだより

10月号

## カケス Garrulus glandarius



森の中を歩いていると、不意に「ジャッ！」という鳴き声に驚かされることがあります、少し、不気味な声のように感じながら、なんだろう～と探していると、カラスくらいの大きさのキレイな鳥がいます。「カケス」という名の鳥です。

カケスの大好物は、ドングリ。秋、カケスはドングリを食べるだけでなく、のどの奥に数個貯めこみ離れた所へ運び、こっそり土の中に埋めています。厳しい冬を乗り切るための、冬用の食料としているようです。賢いですね。

でも、一見賢そうに思えるのですが、何割かは掘り起こして食べるのを忘れてしまうようです。そして、忘れられたドングリ達は、適当な深さに埋められたことで、翌春発芽することができるのです。

忘れん坊のカケスのおかげで、ドングリの森はどんどん広がっているのですね。(K)

## 10・11月のイベント

### セミナー

自然と人をつなぐボランティア入門講座

- 【日時】10月17日(日) 9:30～16:00(雨天中止)
- 【対象】高校生以上
- 【定員】先着20名
- 【申込】10/15まで
- 【概要】レンジャーと一緒に自然観察をしながら、自然観察のコツを学び、それを人に伝える方法を参加者全員で考える講座です。自然解説の経験は無いけれど、自然と人をつなぐ活動を行ないたいと思っている方、是非ご参加ください!



### 自然観察入門

はるばる来たぞ渡り鳥!!

あ・み・か ウォッチング

- 【日時】11月14日(日) 9:00～12:00(雨天中止)
- 【対象】どなたでも
- 【定員】先着20名
- 【申込】前日までに電話か直接センターへ
- 【概要】秋は、渡り鳥が北から南へと大移動をはじめの季節。風蓮湖には、移動途中の渡り鳥が大集結。彼らに『会いに』『見に』『そして』『数えに』行こう!



イベントの申込み・問い合わせは・・・電話でネイチャーセンターへ!

電話 0153-25-3047

イベントは全て事前申込みが必要です。申込締切までに電話か、直接ネイチャーセンターのカウンターでお申込みください。

## 自然予報

### 10・11月に見られそうな鳥・花

== 10月 ==

- <鳥> オオハクチョウの第一陣が飛来します  
カモ類の渡来数がピークになります。風蓮湖全体で2～3万羽。(中旬頃)  
秋の渡り鳥、コオリガモ・ホオジロガモ・ハイロチュウヒが渡来します
- <植物> アッケシソウが真っ赤に色づき、ヤマブドウ・ツタウルシが紅葉します。



== 11月 ==

- <鳥> 秋の渡り鳥、イスカ、ベニヒワ、マヒワなどの小鳥類が飛来します  
冬の王者・オオワシが飛来します  
中旬頃、オオハクチョウの飛来数がピークに！風蓮湖全体で5,000羽に及ぶこともタンチョウが冬の給餌場(鶴居村・阿寒町)へ移動しはじめます。
- <植物> 森のコケがいちばん美しくなる



## おもしろ自然コーナー

### 足輪でわかるタンチョウの経歴

タンチョウの中には、黄色い足環がついているものがあります。実は生まれて1ヶ月くらいのヒナを捕まえて足環をつけているのです。足環の番号を望遠鏡で読み取り、個体を見分けて追跡調査をしています。1羽1羽のタンチョウがどんな暮らしをしているかが分かれば、その記録の積み重ねがタンチョウを守るためのデータになります。今月からは、足環つきタンチョウの調査で分かった「へえー」な話を紹介しましょう。

スワン44ねむろのタンチョウ、T77は1995年生まれのおスで、今年9歳です。生まれは風蓮湖のお隣の温根沼。冬は家族で鶴居の夕チヨウサツチアリ（注：原文ママ）の給餌場に来ていました。当時の観察記録によると、T77はお腹いっぱいになるとハトを追い回したり、枯葉をくわえて放り上げる遊びをよくしていました。時にはキツネを追いかけて遠くまで行ってしまい、親に怒られていたという話も（ほんとか？）。T77はのびのびと子供時代を過ごしました。（つづく）(0)



## 海・森・湿原からの手紙

～ダンス～



先日、春国岱で調査をしているとき、湿原でタンチョウに出会いました。湿原にたたく姿があんまり美しく、しばし調査も忘れて？見とれてしまいました。その時、不意に、以前出会ったある青年の素晴らしい踊りを思い出しました。

彼と出会ったのは、ある年のワールド・ユース・キャンプでした。それは、世界の先住民の若者が集まり、良い社会を作っていくために、お互いの主張を述べ交流を深めるキャンプです。私はボランティアスタッフとして参加していたのですが、そこで彼はアイヌの「クリムセ(弓の踊り)」を見せてくれたのです。彼の踊りは、弓を巧みに操る躍動感あふれるもので、りりしい彼の姿に、その場にいた多くの人が魅了されました。

しかし、その踊りを見せてもらったあと、あの踊りはどういう意味があったのだろうと疑問に思いました。彼を呼びとめ、その意味をたずねてみると、「あ

る日、弓をもってヨシ原をかきわけながら進んでいくと、何か動くものに出会いました。それは美しい姿のタンチョウ。そのタンチョウに向けて、矢を放とうとも思ったのだけれども、あまりの美しさに見とれてしまい、結局矢を射ることはできず、空に向けて矢を放ってしまった。そんな情景を描いた踊りなんです。」と答えてくれました。

アイヌの方々には、生き物を題材にした踊りをいくつも持っています。それだけに、生き物をよく見ていたし、きつと適切な距離感で付き合っていたのだと思います。私も、自分なりにタンチョウとの美しい出会いを表現する踊りを考えたのですが、どうにも滑稽な踊りとなり、人前で披露できるものではありません。いつかは、心に残る踊りをと、こっそり思っているのですが…。それにしても、生き物との出会いを踊りで表現できるなんて、とっても素敵ですね。(K)

# しぜんじょうほうばん 自然情報板

## ミヤコドリ

春国岱の干潟でいそいそと餌を食べているミヤコドリを観察できます。シギ・チドリの仲間が次々と南へ旅立つ中、10月2日現在5羽確認できています。赤・白・黒のコントラストがとてもきれいな鳥です。ネイチャーセンターから望遠鏡で観察できます！（H）



## カモメ

秋が深まり、岩場で休息しているカモメの種類が増えてきました。ミツユビカモメというとてもかわいいカモメも、時折姿を見せてくれます。シロカモメもやってきました。望遠鏡を使ってカモメをじっくり観察してみると、種ごとの違いがわかってきます。カモメウォッチング楽しいですよ。（H）



## カケス

春国岱の森ではゴジュウカラやシジュウカラ、シマエナガなどの混群が飛び回っています。夏の間あまり姿を見せなかったカケスも頻りに観察されるようになりました。



森の中ではカケスの大きな羽音が目立ちます。この時期、ドングリや木の実をくわえたカケスに出会えるかもしれません。（H）

## カモがやってきました

鳥たちの秋の渡りが始まり、春国岱の水辺にもカモの仲間が訪れて、水辺が少しずつにぎやかになってきました。春国岱湾では、潮の引いている時間帯にカモの数が多く、満ちてくるとほかの場所へ移動するようです。冷たくなってきた風を受けてカモの群れを見ていると、秋の深まりを感じます。（H）



## = お知らせ =

観察路の一部に、湿った場所がありますので、長靴の着用をお勧めします。

観察路の木道で、老朽化の進んでいる部分があります。歩くときは足元に十分お気をつけください。



## 9月26日～10月1日に春国岱周辺で確認された鳥

アカリカイツブリ	キツギ	ウグイス
アオサギ	ホウキ	キイタダキ
マガモ	チュウシャクシギ	エナガ
コガモ	セグロカモ	ハシトガラ
ヒドリガモ	オセグロカモ	コガラ
オガガモ	シロカモ	ヒガラ
キンクワシ	ウミコ	シジュウカラ
スズガモ	ミツユビカモ	ゴジュウカラ
クマガモ	アジサシ	アオジ
ヒメ	アカガラ	カラビロ
オジロシ	コガラ	ベニマシコ
ノリ	ヒバリ	スズメ
ハヤブサ	ハクセキレイ	カラス
チョウゲンボウ	死バシリ	ハシトガラ
タンチョウ	モズ	ハシトガラ
ミヤコドリ	ミソサザイ	

## 9月26日に春国岱周辺で確認された花

(赤)	(黄)	(白)	(紫・青)
イヌタデ	ハチジョウナ	ゲンノショウコ	ウラギク
アッケシソウ	アキノキリンソウ	サラシナショウマ	
ミゾソバ			
ナギナタコウジュ			



## ねいちゃーせんたー日記

9月23日、東京の学生ボランティアサークル「FAネットワーク」の4人のメンバーが、霧多布湿原周辺で、自然ガイドをされている方と来館され、一緒に話す機会がありました。

彼らは、夏・冬の長期休暇を利用して、主に北海道で自然保護を進める施設で、現場作業の手伝いなどをしています。

今回は、10日程の滞在期間で、霧多布湿原周辺施設の補修作業をしていたそうです。実際に作業しながら、自然保護の現場を見て感じる事が、各自にとって北海道の自然についてよく考えるきっかけとなったようでした。いきいきとした表情で話をする、彼らの姿がとても印象的でした。

遠き場所に住みながら、北の自然に関心を持ち、行動をおこしている若い学生達の姿が、頼もしくもあり嬉しく思えました。彼らと話をして、負けずにガンバローと思えた、そんな気持ちの良い一日でした。(K)



## スノクの活動

ネイチャーセンターのボランティア活動に参加しませんか？

スノクは春国岱NCの活動を支援、または発展させるために活動しているボランティアグループです。メンバーは随時募集しています！

メンバー登録をする前にスノクの活動を  
とりあえず見てみたいとい方も大歓迎です。  
まずは、ミーティングや各プロジェクト、  
イベントの下見会等にご参加ください！

これからのスノクの活動！

10月スノク定例ミーティング

【日時】10月16日(土) 13:29~

紙芝居プロジェクト

秋の観察会の企画

詳細についてはレンジャーまでお問い合わせください！！



## 「ネイチャーセンターだより」のメール配信のお願い

通信誌の郵送料削減と省資源を目指し、一部ネイチャーセンターだよりをメールにて(ファイル形式はPDFファイル)配信しています。ご協力いただける方にはメールでの配信に切り換えさせていただきたいと思っております。郵送による発送をご希望の方には今後とも郵送にて配信いたします。

ご希望される方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い申し上げます。

連絡先： nemu\_nc@marimo.or.jp

10人以上  
集まれば！

## 春国岱ネイチャーセンターの団体向けプログラム

春国岱・自然学習林での野外での解説 (1~2時間 / 10~20名)

スライド上映 + 春国岱の自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然学習林のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

その他、ご希望に応じてプログラムをアレンジすることもできますのでご相談ください。

利用には申込みが必要です。詳細はネイチャーセンター(25-3047)までお問い合わせください。

などの野外ガイドは、学校団体・町内会等に限定させていただきます。



## 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 根室市東梅 103 番地  
TEL 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

・入館無料 (双眼鏡無料貸し出しあり)

・開館時間 4~9月 9:00~17:00

10~3月 9:00~16:30

・ホームページ

[http://www.marimo.or.jp/nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/nemu_nc/workn/index.html)

・e-mail : [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

2004.10 発行

## 10・11月の休館日

< 10月:6・12・13・20・27日 >

< 11月:4・5・10・17・24・25日 >

休館日: ・水曜日(祝日の場合、その翌々日)  
・祝日の翌日(土・日曜は除きます)

